

THE MUSEUM of MODERN ART,  
Hayama

ちようこく  
彫刻は  
どこにいるの？

外ではトンビに注意。食べ物を  
手にもっている、それを目掛けて  
飛んでくる場合があります。

この美術館には、開館中はいつでも自由にご覧  
いただける作品21点が展示されています。季節  
にあわせて美しく表情を変えていく葉山の自然  
とともに、これらの作品をお楽しみください。



一色海岸は、海水浴客で賑わう  
夏はもちろん、海と空が澄み渡る  
冬とても素晴らしい雰囲気です。  
ぜひ小道を抜けて、海岸にも  
行ってみてください。

美術館内のロビーや美術  
図書室(自由に出入りでき  
ます)で休んでください。

目の前のバス通りをさらに進め  
ば御用邸前まですぐそこ。葉山の  
町もぜひ散策してください。

① イサム・ノグチ  
《こけし》  
1951年 万成石

② 《石人》  
1966年 セメント  
\*オリジナルは、古墳時代6世紀前半の  
扁平方石人(岩戸山古墳【福岡県】出土、  
現在大分県日田市に設置)

③ 柳原 義達 (やなぎはら・よしたつ)  
《裸婦 座る》  
1960年 ブロンズ

④ 木村 賢太郎 (きむら・けんたろう)  
《作品—55》  
1961年 石

⑤ 田中 岑 (たなか・たかし)  
《女の一生》  
1957年 油絵具、水彩絵具、硯、  
墨(墨汁)、パネル

⑥ 湯村 光 (ゆむら・ひかる)  
《Stone Work—Stream》  
1987年 黒御影石

⑦ 山口 牧生 (やまぐち・まきお)  
《棒状の石あるいは  
Cosmic Nucleus》  
1976年 黒御影石

⑧ 空 充秋 (そら・みつあき)  
《揺蕩》  
1985年 黒御影石

⑨ 鈴木 昭男 (すずき・あきお)  
《「点 音」プレート・葉山  
(神奈川県立近代美術館 葉山)》  
2012年 コンクリート、3点組

⑩ 西 雅秋 (にし・まさあき)  
《大地の雌型より》  
2003-5年  
漁船5艘(コンクリート型抜き)、古井戸、四阿

⑪ 西 雅秋 (にし・まさあき)  
《イノセンス—火》  
1991年 鉄、ブロンズ

⑫ アントニー・ゴームリー  
《Insider VII》  
1998年 鋳鉄

⑬ 富樫 一 (とがし・はじめ)  
《ハーモニーII》  
1972年 石

⑭ 眞板 雅文 (まいた・まさふみ)  
《天地の恵み》  
2003年 ブロンズ、鉄、石

⑮ 保田 春彦 (やすだ・はるひこ)  
《地平の幕舎》  
1993年 鉄

⑯ ホセイン・ゴルバ  
《愛の泉》  
1993-7年/2004年鋳造 ブロンズ

⑰ 若林 奮 (わかばやし・いさむ)  
《地表面の耐久性について》  
1975年 鉄

⑱ 小田 謙 (おだ・じょう)  
《円柱の展開》  
1983年 ステンレス・スチール

⑲ 李 禹煥 (り・うふゑん)  
《頂》  
1985年 鉄、石

⑳ 中島 幹夫 (なかじま・みさお)  
《軌 09》  
1966年 石

㉑ 清水 九兵衛 (しみず・きゅうべえ)  
《BELT》  
1978年 アルミニウム、大理石

発行: 神奈川県立近代美術館 イラストレーション: 大樽康子 デザイン: COCHAE 2016年9月初版 2021年7月第2版 ©神奈川県立近代美術館 2021

